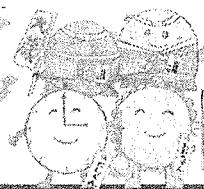


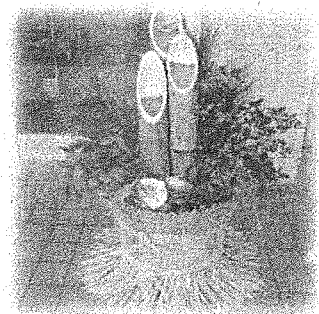
心和得天真

～心和して天真を得る



山口市立大歳小学校
学校だより
令和8年1月

箱根駅伝に学ぶ「あきらめない心」と「続ける力」



新年明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。旧年中は、本校教育活動に多大なるご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、冬休みが明け、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。皆様はどのような冬休みを過ごされたでしょうか。私はこの正月、

「箱根駅伝」を走る選手たちの姿に胸を熱くしました。一本のたすきをつなぐために懸命に走る姿からは、多くの大切なことを学べます。

- ・ 箱根を走りたいという「夢を持ち続けること」
- ・ 何千キロもの練習を重ねる「努力を継続すること」
- ・ 長い道のりを、苦しくても足を止めずに走り抜く「強い心」
- ・ 仲間のために走ったり、サポートしたりする「仲間を思い、支え合う心」

彼らの走りに私たちが感動するのは、単に結果がよいからだけではありません。その舞台にたどり着くまでの、長く苦しい道のりを乗り越えてきた背景が伝わってくるからではないでしょうか。



冬休み中、子どもたちは「新年のちかい」を立てています。「漢字の練習をがんばりたい」「なわ跳びが上手になりたい」「友達にやさしくしたい」「時間を守って行動したい」…。どれもすばらしい、子ども一人ひとりの夢へ続く第一歩です。

目標をたてることはもちろん大切ですが、それ以上に重要なのは、その目標をもち続けることの難しさに「立ち向かう心」や、諦めずに努力を続ける「粘り強い心」を育むことだと考えています。

箱根駅伝の選手たちも、向かい風の日もあれば、足が痛む日もあったはずですが、それでも彼らが前を向けるのは、自分を信じ、積み重ねてきた努力を信じているからではないでしょうか。子どもたちにも、結果に至るまでの道のりこそが自分を成長させるのだと気づいてほしいと願っています。

子どもたちに伝えたいことがあります。立てた目標に向かって歩み出すとき、一番大切なのは、「続けること」です。途中で立ち止まってもいい。悔しくて涙を流してもいい。そこからまた前を向いて、一步を踏み出す力こそが本当の強さです。

子どもたちが立てた「新年のちかい」は、自分自身と交わした大切な「約束」です。その約束を忘れず、最後まであきらめずに努力を続けられるよう、私たち教職員も伴走者のつもりで一人ひとりの歩みに寄り添い、全力で応援してまいります。

本年も引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

